

平成元年度 函館市西部地区歴史的景観賞

北方歴史資料館



この建築の周辺は、かつては函館の経済の中心地であり、電車通り沿いにおいては、銀行の建物をホテルに再利用するなど、今なお歴史的な商業建築が建ち並び、往時の面影を残している。

このような中であって、新築されたこの建物は、周囲の景観との調和を基調としたと重厚なデザイン・色彩等によって函館らしい歴史的な景観をより優れたものとしている。

所在地／函館市末広町23番2号
所有者／社団法人北方歴史研究協会
設計者／株式会社佐藤公郎建築設計事務所
施工者／株式会社森川組

手塚邸



この建物の周辺は、西部地区特有の上下和洋折衷様式の建物が数多く建ち並び、これが洋風建築とのコントラストとなって、函館らしい歴史的な町並みを形づくっている。

このような中であって、空き家となっていたこの建物を建築当初の上下和洋折衷様式に修復することで、歴史的な町並みを魅力あるものになっている。

所在地／函館市元町29番15号
所有者／手塚徳治
施工者／広瀬建築

函館カール・レイモン本店



この建物の周辺は、さまざまな建築様式を持つ宗教建築が建ち並び、開港以来の諸外国文化の流入を端的に表現する異国情緒豊かな町並みがつくりだされている。

このような中であって、新築されたこの西欧様式の建物は、周囲の景観に違和感なく溶け込み、西部地区の魅力をさらに高めている。

所在地／函館市元町30番5号
所有者／株式会社カール・レイモン
設計者／フジタ工業株式会社 札幌支店
施工者／フジタ工業株式会社 札幌支店

平成2年度 函館市西部地区歴史的景観賞

ホテル元町倶楽部



西部地区は、明治・大正・昭和初期にかけて、度重なる大火の被害を受けたため、土蔵造りや煉瓦造のほか、鉄筋コンクリート造などの耐火建築が多様な建築様式で建てられ、函館特有の歴史的な町並みが形づくられている。

このような中であって、鉄筋コンクリート造ながら窓回りや軒裏の化粧など、詳細な意匠を巧みに施すことによって周囲の景観に溶け込み、歴史的な町並みをさらに魅力的なものとしている。

所在地／函館市大町4番6号
所有者／東日本総業株式会社
設計者／株式会社田嶋英人設計事務所
施工者／株式会社銭高組 北海道支店

ギャラリー村岡



この建物の周辺は、和風・洋風さまざまな建築様式を持つ寺院や教会等の歴史的な宗教建築が建ち並び、函館と諸外国文化との交流の歴史が端的に表現されている地域である。

このような中であって、近代的なデザインでありながら、屋根瓦を持つ土蔵のイメージを巧みに取り入れ、敷地周囲の古い石垣を残すなど、西部地区の歴史的な町並みに溶け込んでいる。

所在地／函館市元町2番9号
所有者／ギャラリー村岡
設計者／株式会社サン・エンタープライズ
施工者／株式会社武田工房

河内邸



西部地区を代表する石畳の二十間坂は、明治12年の大火の後に行った街区改正によって造られた歴史的な坂道であり、今なお都市景観形成地域にあって大きな役割を担う坂道である。

このような坂道に面して新築されたこの建物は、近代的なデザインの中に、函館特有の上下和洋折衷様式を取り入れることによって、西部地区の歴史的な町並みをより優れたものとしている。

所在地／函館市元町29番13号
所有者／河内昌子
設計者／アルパ工房
施工者／大光工務店株式会社

平成3年度 函館市西部地区歴史的景観賞

元町茶寮



この建物の周辺は、歴史的な宗教建築のほか、一般住宅においても、洋風や上下和洋折衷様式の建物が建ち並び、異国情緒に満ちた町並みが形づくられている。

このような中であって、新築されたこの建物は、近代的な手法ながら、1階に和風の出格子窓、2階に洋風の縦長窓といった、伝統的な上下和洋折衷様式の特徴を取り入れることで、町並みをより優れたものとしている。

所在地／函館市元町11番8号
所有者／元町茶寮
設計者／株式会社サン・エンタープライズ
施工者／株式会社武田工房

カクタス・ビルディング



この建物の周辺は、旧函館区公会堂のほかに大正から昭和初期にかけて百貨店や銀行が建ち並んだ函館の経済の中心地で、今も往時の姿を残して資料館等に使用されており、歴史的な風格が残されている。

このような地域にあって、新築された中高層の事務所建築であるが、窓の上下や塔屋の意匠・色彩等には自己主張することなく、周囲の景観への配慮がなされ往時の雰囲気醸し出している。

所在地／函館市大町9番20号
所有者／道南石油株式会社
設計者／株式会社サン・エンタープライズ
施工者／株式会社森川組

元町倶楽部・函館の色彩文化を考える会



同会が取り組んでいる「港町・函館における色彩文化の研究」は歴史的な建造物の外壁のペンキをサンドペーパーでこすり出すという手法で、色彩とその時代の関係や函館の歴史と文化の研究を続けている。

さらに、研究報告会やワークショップ・展示会の開催などの活動を通して、地域住民や広く市民にも西部地区の歴史的な環境を見つめ直す、大きなきっかけを与えている。

代表者／元町倶楽部・
函館の色彩文化を考える会
代表 村岡武司

平成4年度 函館市西部地区歴史的景観賞

太郎鮫 元町店



この建物の周辺は、和風様式の住宅や洋風様式の旧函館区公会堂，さらには，西部地区特有の上下和洋折衷様式の建物が混在する伝統的建造物群保存地区となっている。

このような地区にあって，2階の窓は縦長の洋風，1階の窓と出入口は和風とし，下屋庇・胴蛇腹を設けるほか，屋根を寄棟とするなど，伝統的な上下和洋折衷様式を踏襲し，周囲の歴史的な景観に調和している。

所在地／函館市元町32番9号
所有者／太郎鮫 元町店
設計者／株式会社近藤総合事務所
施工者／盛田工務店

小川邸



明治・大正・昭和初期と繁栄をなしてきた西部地区には，土蔵を持つ家が数多く建てられたが，老朽化による除却などによって，現在，弥生町には数件の土蔵が残るだけとなった。

このような中で，歴史的な土蔵を後世に伝え残そうと，住宅の建て替えを機に土蔵を修理して再生し，建物全体の意匠・色彩も周囲の歴史的な景観に調和している。

所在地／函館市弥生町18番5号
所有者／小川 弥八郎
設計者／高橋・川嶋建築設計事務所株式会社
施工者／株式会社カネヤイチ高橋建設

平成5年度 函館市西部地区歴史的景観賞

平和石油株式会社船舶事務所



港に面するこの地域は、明治の後半から大正期にかけて洋風様式や上下和洋折衷様式の洒落た建物が数多く建てられた地域である。

往時の面影が薄れつつある中で、上下和洋折衷様式の建物を改修し往時の色彩に塗り替え、さらには庇の上に取り付けてあった大型の看板を小さく庇の下に収めるなど、町並みを重視した改修の模範となっている。

所在地／函館市末広町2番16号
所有者／平和石油株式会社
施工者／有限会社文字堂

相馬邸



元町公園の周辺には、旧函館区公会堂や旧イギリス領事館の洋風様式の中に、黒田邸などの和風様式が混在することで、函館特有の歴史的な町並みが形成されている。

今回、一部改築されたこの建物は、敷地内の和風様式の母屋と土蔵の接点にあり、和風の建築様式を継承することで、敷地全体が重厚な屋敷の風格を表現し、歴史的な景観形成に寄与している。

所在地／函館市元町3番2号
所有者／相馬千代子
設計者／株式会社建築企画山内事務所
施工者／株式会社北渡建設

カクタス館 基坂



西部地区の中核をなしている基坂の周辺は、伝統的建造物群保存地区に指定されており、近くには相馬株式会社があり、基坂を見上げれば旧函館区公会堂などの洋風建築が建っている。

このような中で、新築されたこの建物は、切妻屋根に縦長窓と伝統的な様式を踏襲しながら、隣接するカクタス・ビルディングと一体化させ、近代的な手法の中にもデザイン・色彩等に工夫がなされ、歴史的な景観に調和した優れた景観を創出している。

所在地／函館市大町9番21号
所有者／道南石油株式会社
設計者／株式会社サン・エンタープライズ
施工者／有限会社生和建设

平成6年度 函館市西部地区歴史的景観賞

ペンションはちまん坂



元町公園の周辺には、旧函館区公会堂や旧イギリス領事館などの洋風建築が建ち並び、函館特有の歴史的な町並みが形成されている。

このような中において、老朽化が進んでいた住宅を復元し、縦長窓を等間隔に取り入れ、さらに色彩もパステル調にまとめ、洋風建築を忠実に再現している。

また、ペンションの看板や花壇なども、この建物を一層引き立てる役目を果たしている。

所在地／函館市元町14番16号
所有者／株式会社北水ライン
設計者／株式会社佐藤公郎建築設計事務所
施工者／輪島工業